ニース NICE

先史時代から、テラ・アマタ(愛された土地)として、人々を迎え入れてきたニース。ボロン山麓にある、4000 年の歴史を持つ町だ。
紀元前 4 世紀には、古代ギリシャ語で「勝利の町」を意味するニカイアの名で呼ばれ、地中海の西に位置する戦略的要衝であると同時に交易都市として栄えた。その 3 世紀後には、アルプスを監視するためにローマ人がこの理想的な地に住み着き、ケメネルムと呼ばれる本格的な都市を作り、闘技場や浴場やフォーラムなどを建設した。
1860 年、ニースの住民はナポレオン三世とサルデーニャ王のヴィットーリオ・エマヌエーレ二世との間で結ばれたトリノ条約が定めたフランスへの帰属を、住民投票で選ぶ。それ以来、この小さな町は大きな発展を遂げる。鉄道が敷かれ、交通の便が発達し、最新流行のリゾート地となるのだ。
現在、人口 40 万人のニースはフランスで 5 番目に大きな町で、芸術や文化活動が盛んなことは勿論、サービス業や科学・ハイテク産業に広く開かれた自治体となっている。長い歴史と多様な建築遺産、数多くの美術館や博物館に代表される盛んな芸術活動、海と山の両方の豊かな自然、太陽の恵みいっぱいの郷土料理、地元の特産品やショッピングも楽しみたい。

主要な史跡・文化施設

様々な時代のバラエティー豊かな建築スタイルを見られるのも、ニースの特徴の一つ。激動の歴史を経てきたニースは、各時代の痕跡を今も市内に留めている。

◆旧市街
ニースの懐に深く入り込むには、旧市街の緑の路地をさまよい歩くのが一番。迷路のように路地が入り組んだ旧市街には、サルデーニャ風のカラフルな建物が立ち並び、4 つの市立画廊のほか、数多くの民間画廊や、美術品や工芸品を商う露店がある。

◆ベル・エポック期のファサード
ニースに於いて最も創造性に富んでいた時代は、ベル・エポック期。周辺の丘に貴族やお金持ちの避寒客が押しよせ、自由な発想で建物を建設した。こうして、緑の中に埋もれるようにして城や宮殿が誕生する。オリエンタル風バロック様式の建物、ラングレ城や、美術館、現在大学の科学部のキャンパスとなっているヴァローズ城、歴史建造物に指定され、アメリカの雑誌に世界で最も素晴らしいパレスホテルの一つに選ばれたホテル・ネグレスコ、そしてレジーナ・パレスなどの建物は、ニースが、選ばれた冬のリゾート地であることを物語っている。

◆美術館
パリに次ぐ美術館数を誇るニース。現代近代美術館(MAMAC)、県立アジア美術館、美術館、マティス美術館、国立マルク・シャガール美術館、パリ・マセナなど、全部で 20 の美術館や画廊がある。ニースのすべての美術館は入場無料となっている(ただし国立マルク・シャガール美術館と私立の珍品発見博物館は除く)。ルイ・ブレアの生誕の地であり、ヴァン・ルーの故郷であるニースには、シャガールやマティスを初め、トゥールーズ・ロートレックやモディリアーニ、ユトリロ、ルノワール、デュフィなど数多くの芸術家が滞在した。

◆ニース派
インスピレーションの場として芸術と文化が花開いたニースでは、20 世紀、フランスでも有数の豊かで多様な芸術運動が起こった。50 年代から 70 年代にかけて世界的に有名になった≪ニース派≫には、イヴ・クライン、アルマン、マーシャル・レイス、ニキ・ド・サン・ファール、ジャン・ティンゲリ、セザール、クリストなどの巨匠が挙げられる。

2014 年の主要なイベント

◆ニースのカーニバル「美食の王様」: 2014年2月14日～3月4日。質の高い内容と大胆で独創的なプログラムのおかげで19世紀後半から世界的に有名になった人気の祭り。2014年は、「美食の王様」をテーマに2月14日から3月4日まで開催。2週間にわたり、市内のあらゆる地区が賑わう。カーニバルの一番の見せ場は、パレードと花の戦い。毎年、世界中から100万人の観光客が訪れるイベント。www.nicecarnaval.com

◆ニース・ジャズ・フェスティバル :2013年7月8～12日。一流のジャズメンによる田園風景の中での演奏。フェスティバルの合間には街角でも演奏が行われ、毎年5万人にのぼるジャズ＆音楽ファンが訪れる。1974年以来、少しずつ規模を拡大しているニース・ジャズ・フェスティバルは今日世界的に有名なジャズ・フェスティバルとなっている。
www.nicejazzfestival.fr

◆クリスマス村 : 12月 中。毎年12月になると本格的なクリスマス村が、メセナ広場に出現。クリスマスらしい冬景色を演出する600本ものもみの木の森の中では、氷の彫刻やクリスマス・パレード、年末コンサートなどの様々な催しが行われ、クリスマスにちなんだ地元の多種多様な工芸品を売る60軒あまりの小屋が立ち並ぶ。試食コーナーもあり。ヤシの木の下でのクリスマスという不思議な体験ができる。http://jp.nicetourisme.com

郷土料理

ニース料理(AOC 原産地呼称統制)には、ニースならでは生活の楽しみ方と、有名なオリーブ油と各種ハーブ類を初めとする地元の食材への愛着が反映されている。ニースは市内に AOC ワインのブドウ畑があるフランスで唯一の自治体(1941 年取得)。ベレの丘では、フランスで最古のブドウの品種の一つが、赤、白、ロゼのワインを生み出している。AOC ベレの優れたワインの評判は、はるか昔から国境を越えて知られていた。

ニースの郷土料理

◆ニース風サラダ La salade niçoise:ゆで卵とアンチョビを入れて、オリーブ・オイルで味付けしたサラダ。

◆パン・バニャ Le pan-bagnat:≪湿ったパン≫の意味。ニンニクの風味をつけてオリーブ・オイルに浸したパンでニース風サラダをはさんだサンドイッチ。

◆ピサラディエール La pissaladière:オリーブとアンチョビをトッピングしたオニオン・タルト。ニース語で≪アンチョビ≫の意味。

◆ソッカ La socca:ひよこ豆の粉を使ったクレープ。コショウを効かせて熱々を食べる。

◆ラタトゥイユ La ratatouille:ピーマンとズッキーニとナスとトマトと玉ねぎの煮込み。

◆フダンソウのパイ La tourte de blettes:フダンソウと松の実とパスティス風味の干しブドウを入れた甘いフィリングを入れて焼いたパイ。

その他

◆ズッキーニの花のフライ Les beignets de fleurs de courgettes:薄いパリパリの衣で揚げてある。

◆メスクラン Le mesclun:ニースで栽培された様々な種類のフレッシュ・リーフを使ったミックス・サラダ。

◆トマトやズッキーニ、カラー・ピーマンのファルシ Les farcis:それぞれ独自のフィリングが入る。

オリーブ

◆カイエティエ Le "cailletier":ニース特産のオリーブの品種。ブラック・オリーブやオリーブ・オイル、オリーブ・ペーストが作られる。2001 年から AOC オリーブ・ド・ニースの名で知られている。

ショッピング

ニースには 7000 軒以上の商店があり、そのほとんどが市の中心部の観光エリアに集中している。

◆サレヤ広場:クール・サレヤは、ニースの旧市街で一番賑やかな広場の一つ。観光客が一度は足を運ぶ観光名所だが地元の人々との出会いの場でもある。月曜日以外の毎日、花市場を開催。野菜と果物の市場は、食文化国家評議会からフランスで最も優れた市場の一つに選ばれた。ガラクタ市は、毎週月曜日に開催。6 月から 9 月までは毎晩、工芸品市場が開かれ、広場には大勢の人が集まる。

◆アンティーク:港近くのセギュランヌ村には 24 軒の骨董屋があり、掘り出し物が見つかる可能性あり(日曜日休業)。

◆デパート:ギャラリー・ラファイエット(メセナ広場)、ニース・エトワール商業センター(ジャン・メドサン大通り)

◆高級ブティック:歩行者専用地区のカレ・ドール周辺には、シャネル、ルイ・ヴィトン、カルチェ、アルマーニ、ロンシャンなどの一流ブランド店が軒を連ねる。

アクティヴィティ

海や浜辺、山でのスポーツ、ショッピング、ゲーム、ナイトライフ、・・、ニースにはあらゆる楽しみが揃っている。

◆レジャー:アロマテラピー講座、香水作り、スパ、フィットネス、料理教室、ワイン試飲、カジノ、ボーリングなど。

◆スポーツ:水上スポーツ、ニースから 1 時間のスキー場でのウィンター・スポーツ、ハイキング、渓流下り、ヴィア・フェラータ、トレッキング、ニース近郊でのゴルフなど。

◆フレンチ・リヴィエラ・パス:1 枚のカードでニース&近郊をお得に観光。より良い滞在のために生まれたフレンチ・リヴィエラ・パスがあれば、有効期間中(24 時間、48 時間、72 時間)なら、何度でも、ニース・ル・グラン・ツアーのバスの展望席に乗車でき、ニースとその近郊の美術館や観光施設に無料で入場でき、レストランや商店や各種レジャーや体験教室などの選ばれた施設で優待を受けることもできる。
http://jp.nicetourisme.com

レストラン

ミシュランの 5 つ星クラスの超高級レストランから、伝統的な料理や郷土料理を出すレストランや海の家まで、あらゆる好みとあらゆる予算に合わせたレストランがあります。
団体を受け入れられるレストランも数多くあります(最大で 300 人まで)。
◆レストランについての情報とアドバイスはニース観光局 HP http://jp.nicetourisme.com
またはマーケティング担当者 marketing@otcnice.com まで問い合わせ。

宿泊施設

フランスで第二のホテル数を誇るニースには、170 軒近いホテルがあり、総客室数は 1 万室を数える。超高級なパレスホテルから、プチ・ホテルや大型のシティホテルまで、様々なカテゴリーで、幅広いタイプの宿泊施設が用意されている。ニースのホテル業界は、新しいタイプのホテルの誕生でさらに発展を遂げている(プチ・ホテル、またはデザイン・ホテルと呼ばれるホテルや、快適さと美観とテクノロジーと質の高いサービスを融合させた既存のホテルのリニューアルなど)。ニースには、最近完全リニューアルしたホテル・ネグレスコとパレ・ル・メディテラネの 2 つの 5 つ星ホテルがある。
◆ホテルについての情報とアドバイスはニース観光局 HP　http://jp.nicetourisme.com
またはマーケティング担当者 marketing@otcnice.com まで問い合わせ

近郊のみどころ

ニースの丘

ニース近郊の丘にはたくさんの遊歩道が整備されており、ニースのすぐ近くで気持ち良いハイキングを楽しむことが可能。西に向かう遊歩道は、地中海の雄大な風景を眺めながら、ベレやサン・ロマンなどの小さな村を通り、ブドウ畑や樹齢 100 年のオリーブ畑、お花畑、野菜畑、カシの森を横切って続いている。その道すがら、ワインの試飲や花畑の見学ができる。

ニースとその周辺

ニースはおとぎの国を思わせる景色と絵葉書のように美しい風景が、さらには伝説と本物とが隣り合う魅力溢れる地方の中心に位置する。夢の町カンヌ、手つかずの自然が残る雄大なエステレル山地、宗教的な静けさに満ちたレラン諸島、豪華で賑やかなモンテ・カルロ、ゴージャスで落ち着いた雰囲気のキャップ・フェラ、ゆったりとした魅力を湛えたボーリュー・シュル・メール、堂々たる錨地を備えたヴィルフランシュ……。さらには沿岸部を離れ、内陸の歴史ある村々をたどれば、時間を遡る旅も楽しめる。ヴァルボンヌやビオットの小道や、サン・ポール・ド・ヴァンス、ロックブリュンヌ・カップ・マルタン、エズの城壁は、訪れた人を中世の時代へと連れ去ってくれる。高台にあるオー・ド・カーニュ、ヴァンス旧市街、ムージャン、ヴァロリスでは、ルノワール、スーティン、マティス、ピカソが描いた色彩と光に出会える。

ニースはこれらの伝説に満ちた地方へと向かう旅の拠点として理想的。そこでは野外アクティヴィティも簡単に経験することができる。
アクティヴィティの例:イルカと一緒にダイビングを楽しむ、ヴィア・フェラータ(岩場に張られたワイアーや吊り橋など)を利用したクライミングやマリエ橋からのバンジージャンプに挑戦する、メルカントゥール国立公園のオオカミに会いに行く、自然保護区で動植物を観察する、ニース後背地の豊かな歴史・自然遺産に触れるなど。

シャルル・ド・ゴール空港からのアクセス

飛行機で来る場合:ニース・コートダジュール空港利用。

鉄道で来る場合:TGV 線でパリからニース(マルセイユ経由)まで所要約 6 時間。

お問い合わせ

ニース観光会議局　**OFFICE DE TOURISME ET DES CONGRES DE NICE**
www.nicetourisme.com

観光業界担当
Ria KOLEMBUSOVA
セールス・マネージャー
TEL: 04 92 14 46 24
ria.kolembusova@otcnice.com
http://jp.nicetourisme.com